



## 「平成24年度子ども大学にっしん」レポート



### 「平成24年度子ども大学にっしん」について

次世代を担う子どもたちの知的好奇心を高める学びの場を提供することを目的として、平成24年12月2日に愛知学院大学、平成25年1月27日に椋山女学園大学、2月3日に名古屋商科大学、2月17日に名古屋外国語大学・名古屋学芸大学で、子ども大学にっしんを開催しました。

子ども大学にっしんは、市内在住の小学4年生から6年生を対象として、大学教授などの各分野の専門家が高いレベルの授業をわかりやすく講義するもので、平成23年度から実施しています。平成24年度は、会場となる大学も3大学から5大学に、日程も2日間から4日間に拡大し、第2期生となる子どもたち56名が入校してくれました。

### 子ども大学にっしん開催日の様子

◎第1回目：平成24年12月2日（日） 愛知学院大学

10：00～『入学式』

ケヤキテラス3Fのアセンブリーホールにて、子ども大学にっしんの入学式を行いました。子ども大学にっしん学長の萩野幸三市長と学校法人愛知学院の引田弘道理事のあいさつの後、日進市のマスコット・キャラクター「ニッシー」が登場して記念撮影を行いました。



10：30～『子ども大学にっしんをはじめる前に』

市学校教育課職員から子ども大学にっしんのスケジュール等の説明の後、『「表と裏」って、なんだろう？』『「落ちない」ことって、あるのでしょうか？』など、数学の原理を使った手品を通して、「学び」の原点とは「探求」することと、子どもたちにアドバイ



スがありました。子どもたちも、興味を持って話に耳を傾け、手品の種を考えていました。



### 11:15～『みんなで体を動かそう!!』

愛知学院大学 心身科学部講師

水藤 弘吏 先生

ストレッチから始まり、大学生と一緒に新聞紙やボールを使ったレクリエーションやじゃんけん列車を行いました。子ども同士交流でき、入学式からの緊張もほぐれて、いきいきと体を動かしていました。

### 12:00～『昼食』

昼食の時間は、心身科学部と法学部の大学生とともに、ケヤキテラス1Fの学食で弁当を食べました。レクリエーションで仲良くなった友達や大学生と一緒に会話をしながら食べる弁当はとてもおいしく、楽しく盛り上がりました。



### 13:00～（選択講義）

#### A『裁判って何をしているんだろう？ 何のためにあるんだろう？』

愛知学院大学 法学部准教授 鈴木 慎太郎 先生



模擬法廷教室で先生と大学生による模擬裁判が行われました。テレビドラマなどでしか見たことのない法廷に、子どもたちはとても興味津々でした。講義ではグループに分かれて、検察官・弁護士・証人・被告人それぞれの役の大学生から役の説明を受けました。模擬裁判終了後に、先生から「被告人は有罪ですか、それとも無罪ですか？」と聞かれて、子どもたちは悩みながらも自分たちで考えたそれぞれの答えを出していました。

#### B『世の中には、どうして会社がいっぱいあるの？』

愛知学院大学 法学部専任講師

村上 康司 先生

「皆さんは、どんな会社を知っていますか？」という質問から始まり、グループに分かれて会社名を出し合いました。お菓子やおもちゃメーカー、生活に密着



している電力会社などの名前が挙がっていました。また、「会社をつくるには何が必要ですか？」という質問にも、「人（そこで働く人）とお金（資金）。」という発言があり、先生をうならせていました。資金の調達方法（株式）の話では、先生の説明を皆食い入る様に聞いていました。

#### 14：00～『日進の鳥のお話＝Q&A 鳥ってなぁ～に？』

市民講師 住田 穂積 先生



色鮮やかな写真のスライドを使いながら、翼やくちばしなど鳥の体についてのお話や日進に生息する野鳥に関するお話をしていただきました。「自分たちが結構いい日進市(まち)に住んでいることに気付くきっかけになれば、そしてこれからもこの日進市の自然を大切にしていきたいと思います。」とのことでした。最後まで子どもたちは真剣な表情で、先生の話に耳を傾けていました。

#### ◎第2回目：平成25年1月27日（日） 椋山女学園大学（日進キャンパス）

10：30～『ニュース原稿のできるまで』

椋山女学園大学 文化情報学部准教授 脇田 泰子 先生



最初に、ニュースについて思い付く言葉を発表し合った後、ニュースの要素やポイントについて講義を受け、放送時間によって内容や順番が代わるなどのニュース番組の裏側について学びました。次に、一番伝えたいことは何か、5W1Hをきちんと盛り込むなどの記事の構成の仕組みやコツについて学びました。最後には、

実際のニュースを題材にして、リード原稿の作成にチャレンジし、比較的難しいテーマであるにもかかわらず、子どもたちは真剣に講義に参加していました。

#### ◎第3回目：平成25年2月3日（日） 名古屋商科大学

10：30～（選択講義）

A 『みんなでつくろうーあそび場＝公園』  
名古屋商科大学 商学部教授  
斉藤 秀平 先生

初めに、愛・地球博記念公園の特徴についてお話がありました。子どもたちからは、公園内で火を使い料理を作りたい、焼き芋



を作ってみたい、ターザンロープをやってみみたいなどの意見が出ていました。また、「子どもの頃に自分でたくさん考えて大人になった人は大きな力が発揮できるので、それを実現できるように力いっぱい遊べる環境を整えることが大切です。」とのことで、子どもたちは真剣に講義を聞いていました。そして、この原理を利用した消しゴム飛ばし大会を行って、より遠くへ飛ばす方法をみんなで考えました。

## B 『なぜ大人になったら“はたらく”のか?』

名古屋商科大学 経営学部教授 亀倉 正彦 先生



「将来どんな仕事に就きたいですか?」という質問に、それぞれ子どもたちは自分の思いを答えていました。また、「働くということはどういうことですか?」との質問に、頑張ってお金を稼ぐこと、人や社会のためになること、楽しむこと、大変だけど苦勞して人の役に立つことなどと、子どもたちは難しい質問に対しても一生懸命考えて、自分なりの答えを発表していました。先生からは、「働くとは、人が動くことで

はなく、人のために動くことです。そして、夢をなくさない人になってください。」とのお話がありました。また、日進市のイメージについて、子どもたちは様々な意見を持っていて、日進市のよいところをいろいろな目線で感じ取っていました。

## ◎第4回目：平成25年2月17日(日) 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

10:30～(選択講義)

### A 『アメリカ手話の世界』

名古屋外国語大学 外国語学部教授 菊地 俊一 先生

初めに、アメリカ手話の歴史や概要について、先生の海外での実体験を交えながら説明を受けました。その後、アルファベットのAからZまでの26文字の手形を順に体験し、自分の名前を手話で練習しました。また、「おはよう」「こんにちは」などのあいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉を練習し、子どもたちは二人一組になってあいさつから自己紹介までの簡単な日常会話を楽しそうに体験していました。



### B 『写真を組み立てる』

名古屋学芸大学 メディア造形学部助教 村上 将城 先生

写真は、真実もそうではないものも写すことができ、絵やジオラマを使ってリアルに写すこと



や合成写真を作ることもできるとの話がありました。そして、1枚の写真では見せることができない、表現することのできないものが、2枚以上の写真を組み立てることにより、時間の流れや物語性が生まれ、新たな表現ができるようになるとのことでした。子どもたちはグループに分かれてテーマを決め、一眼レフを使った写真撮影を行いました。その作品は、先生も感心するような出来上がりでした。

### 12:00～『昼食』

昼食の時間は、メディア造形学部の大学生とともに、コミュニケーションプラザ1Fの学食で弁当を食べました。子ども同士や大学生と一緒に子ども大学にっしんの講義内容についてお話ししたりして盛り上がりました。

### 13:00～『新聞ができるまで』

中日新聞社 中日こどもウィークリー編集長 遠藤 健司 先生



新聞記者が事件や事故の現場へ急行して記事を書き、新聞として印刷されて各地へ配送されるまでの流れについて説明を受けました。新聞に掲載する記事や写真も配布地区に合わせて変えており、楽しんで読んでもらえるような記事や地域にあった記事を選んでいくとのことでした。子どもたちは、なかなか聞けない新聞ができるまでの話を興味深く聞いていました。

### 14:00～『医学の未来 ～難病のお話～』

名古屋学芸大学 学長 井形 昭弘 先生

難病とは原因不明で治療法がない病気ですが、その難病の原因や対処法などを解明された実績をお持ちの先生からお話をお聞きすることができました。「原因のない病気はありません。つまり、医学は無限に進歩し、今わからない病気でも将来は必ず治すことができます。そして、難病対策は、福祉や保健も関与して、これからの社会によりさらに大きく飛躍し、成果を上げることが重要です。」とのことでした。子どもたちは、小学校では聞けな



い医学の未来へ向けたお話に、目を輝かせてノートを取っていました。そして、先生にいくつも質問をしていました。

## 15:00～『修了式』



K館5Fのアンフィシアターにて、子ども大学にっしんの修了式を行いました。初めに、子ども大学にっしん副学長の堀之内秀紀副市長から、代表者へ修了証書が授与されました。続いて、堀之内副学長と名古屋学芸大学井形昭弘学長から、修了についてお祝いの言葉をいただきました。最後は、日進市のマスコット・キャラクター「ニッシー」も登場して、平成24年度子ども大学にっしんの修了を見届けていました。

### 子どもたち及び保護者の声

今回はモデル実施2年目という位置付けで開催いたしました。平成24年度子ども大学にっしんを受講していただきました子どもたち及び保護者の皆様からご回答いただきましたアンケートの結果につきましては、貴重なご意見として次回開催の参考にさせていただきたいと考えております。ありがとうございました。



### <子どもたちの感想、意見など(抜粋)>

- ・裁判についていっぱい分かった。大学が思ったより広くてびっくりした。本物の裁判を見に行きたいなと思った。生ニッシーに会えて嬉しかった。次も来てほしいな！スタッフの人が優しくしてくれたから、緊張がほぐれてほっとした。
- ・席を毎回替えて、いろいろな人と隣になれるようにしてほしい。
- ・お弁当の時、いろいろな人と交流できていろいろな人としゃべれて楽しかった！
- ・どのスタッフさんも親切でとても話しやすかった。また、今回のような機会があったら、参加してみたい。
- ・お弁当を食べる時、STAFFと遊ぶのが楽しかった。
- ・いろいろなことが学べて、これから役に立つこともあったので、とてもよかったです。
- ・お話や体を動かすことが、思っていたよりとても楽しかった。
- ・ニッシーが思ったより大きかった。大学はとても大きくてびっくりした。
- ・大学にも入れて光栄なのに、すばらしい場所や先生がいて感動しました。ありがとうございました。
- ・知らない人と話すことができてよかった。
- ・私のクラスでは、「自主学习」というもの(自分で気になったことを調べる)があり、いろんな話や説明を聞いて、ぜひそれに活かせると思いました。

- ・ニッシーが登場したときも、ニッシーかわいかったです。学校も教室もトイレとかも、メッチャきれいですごくよかったです！
- ・食事をした場所がとてもきれいで気持ちよかったです。裁判所と同じつくりになっているところに、実際に入れて楽しかった。大学生の方達の授業で2人1組になって新聞を破るのが楽しかった。
- ・知らなかったことや分からなかったことを丁寧に教えてくれたので、分かってよかった。
- ・いろいろなことが分かって、楽しかったです。知らなかったことも知れてよかったです。スタッフの大学生の人達と遊べてよかった。
- ・工作やI H・LEDの仕組みなどを分かりやすくした講義があったら、ぜひ行きたい。
- ・大学はとてもきれいで、小学校と大違いだった。広くて迷いそうだった。
- ・大学は広くて、一人で行ったら絶対に迷いそうだった。少し講義が難しかったけど、楽しかった。大学での授業はこんな風にやるんだということが分かった！
- ・大学はとても広くて、とても迷ってしまいそうでした。でも「スタッフ」の皆さんが案内してくれたので、迷わずにすみました。外は寒かったけど、「裁判の話」はちょーおもしろかったです。小学校とは違って、運動場は広いし、食べる場所もあるし、いいなと思います。野球・バスケ・サッカー・テニスなどの部活も楽しみたい！
- ・大学の校舎はとても広く、入ったときにとってもびっくりしました。ゲームもとても楽しくて分かりやすかったです。いろいろなゲームの時間も、友達ともふれあう時間が多く、とてもよかったです。もっといろいろな授業を受けて学んでいきたいなというような気持ちになりました。あと、スタッフなどがとても親切にしてくれて、とてもおもしろかったです。
- ・日進市には、いろいろな生き物がいることが分かった。会社がどうやってお金を手に入れているか分かった。
- ・分からなかったことが分かってうれしかった。いろいろ聞くことは大変だと思っていたけれど、楽しく話してくれたから楽しかった。
- ・ニュースをよく聞いてみようと思った。原稿を作るのが楽しかった。自分も家のニュースを集めて原稿を作ってみようと思った。
- ・ニュースはたくさんの方の努力があるということがわかった。これからはよく見て「5W1H」がどのように使われているかを知りたいです。
- ・すごく楽しかったです！公園のことなどよく分かりました！
- ・なぜ今勉強するのか？大人になってどうして働くかがよく分かりました。
- ・自分が住んでいる町の日進のことが今どうなっているのかなど知らなかったことも、講義で分かったのがうれしかったです。
- ・1つのことがいろいろなことにつながっているんだなあと思いました。勉強は面倒くさいと思うこともあるけど、みんなの役に立つということを聞いて、きちんとやらないとだめだなあと思いました。
- ・これからの社会を支えていくのは、わたしたちだということが分かりました。
- ・教授が授業をしてくれるなんて、光荣だなと思いました。
- ・いろいろな大学に行き、いろいろな勉強をして楽しかったです。4回の授業でしたが、とてもいい体験をさせてもらいありがとうございました。
- ・「修了証書」をもらえて、とってもうれしかったです。ニッシーくんの姿も見られたので、いい

子ども大学になったと思います。ありがとうございました。

- ・いろいろなことができて楽しかった。学校とは違う体験ができてよかった。次回も参加したいと強く思った。家に帰ってから、どんなことがあったか思い出してみようかな？
- ・とても分かりやすい内容話を話してくれて、大学に興味を持ちました。あと、体を使ったり、いろいろなお話をしてくれたり、早く大学へ行ってみたいと思いました。また子ども大学があったら、やってみたいです。
- ・子ども大学、とっても楽しかったです！今までお世話になりました！
- ・時間をもっと長くしてほしい（4回とも1日）。
- ・次も子ども大学にっしんがあったら、行きたいと思いました。いろいろな先生のお話がたくさん聞けて、うれしかったです。特に、難病のお話がおもしろかったです。
- ・子ども大学はいろいろなことが学べたので、とても役に立った。もっと長くやりたいと思いました。手話はいろいろなものを例えることができて、自分の名前ができたことがうれしかった。
- ・すごく分かりやすい授業が多かった。いろいろなことが分かってよかった。友達に手話を教えてあげたいと思いました。忘れないようにしたいです。
- ・大学での授業はいすや机が違うので、少し落ち着けなかった。大学での授業は難しいものが多かった。でも楽しかった。もっと学びたい。小学校でもがんばる！
- ・僕は科学なのが好きなので、そういうことをやってみたい。それから、実験などをしたい。
- ・写真を撮る場所を考えるのが大変だったけど、とても楽しかったです。
- ・半日のときがあったけど、1日の方が楽しかった。前より大学が増えてよかった。だけど、金管バンド部の日進市バンドフェスティバルとかぶって1日行けなくて残念だった。
- ・2回目なんですけど、前よりもすごいことを分かりやすく教えてくれたので楽しかったです。私は将来、医者になりたいので、難病のお話はとてもためになりました。
- ・手話は世界共通だと思っていたけれど、それぞれの国で違うなんて驚いた。今日の授業でとても興味がわいたから、もっと学んでみたいと思った。
- ・中学生もこういう行事に参加したい。名古屋にある大学にも行きたい。スタッフさんをもっと増やしてほしい。
- ・みんなの知らないことが知れてよかったで一す！
- ・中学生用もやってほしい！
- ・子ども大学は2回目だけど、2回とも違う内容で楽しかったです。子ども大学のおかげで、分からなかったことが分かってよかったです！
- ・中学生になってもなぜ？を分かるようになりたい。
- ・写真を自分で撮って、それでストーリーを作るのがおもしろかった。4回のうち、1回来ることができなかったので、その内容を詳しく知りたいです。

#### <保護者の感想、意見など（抜粋）>

- ・帰ってくるとイキイキと聞いた内容を話してくれました。私が思う以上に頭に入っていて、いろいろな話をしてくれたので、次の機会があれば私も聴講したいと思いました。
- ・開催時期がカゼをひきやすいので、夏休みとかがもっと良いと思います。うちの子にとって大学で授業をうけられたことは、将来につながる良い経験になりました。本当にありがとうございました。

います。

- ・市役所の方や大学の先生方、学生の方と色々な方の協力で子供にとってもよい経験をさせてあげる事が出来たと感謝しています。むずかしい言葉やよくわからない内容もあったようですが、楽しそうに話をきかせてくれました。また次回も参加したいと思います。
- ・最初から興味があったテーマの講義は楽しかったようですが、テーマ自体に興味がなく、終始、お話だけの講義はつまらなく感じたようです。
- ・終わったあとの講義内容を楽しく話をして聞かせてくれました。毎回、大学も違い、入った事もないので、それだけでも良い経験ができたと思います。
- ・講義の内容は難しいと感じる事が多かったようですが、初めて大学へ行って知らなかった事をたくさん学べたようです。大学の大きさ、立派さに、とても驚いていました。
- ・毎回、目をキラキラさせて報告してくれました。今まで触れたことのない内容だったので、とても刺激があったように思います。そして、先生方、スタッフの方が4年生にも分かるように丁寧に指導、説明などして下さっていたことが、子どもの様子からも伝わってきて、とても有難く思いました。
- ・安く感じますが、1,000円だと申込みしやすいです。行けなくなることもあるかなと考えると。
- ・日程がいろいろあり、把握していたつもりが…最終日は日にちをわすれていて、後日おわってしまったことにきづいて、大変大変残念でした。教材を郵送していただき、ありがとうございました。来年度をたのしみにしています。
- ・本当にありがとうございました。いろいろな事をもっとして頂きたいです。出来れば、3年生くらいから出来る事があればさせたいです。
- ・本人が期待していたような内容ではなかったり、難しすぎて理解できない講義もあったようですが、そのような中からも記憶に残ることもあり、帰ってから新しく覚えたことを話してくれたりしました。おおむね楽しく過ごせたようです。
- ・小学校とは違った授業、各大学の教室、講師の先生達にワクワク感を覚えたのか、フンワリしていた将来の職業がハッキリしたらしく、ヤル気を持って勉強する様になりました。
- ・半年ずつ前期・後期くらいでやってほしい。芸術、科学、文学、医学、情報など、コース別に少し深い内容をじっくりとできると良いと思いました。親も一緒に出席でき、子供との会話ははずみ、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・日曜日なのに勉強することが苦にならないほど楽しかったようです。
- ・とても楽しかったと喜んでおりました。ただ座って聞くだけでなく、動きのあるものが特によかったです。他の小学校、学年のお友だちができ、次回を心待ちにしていました。広くてきれいな大学の校舎で、講義を受けられること自体、よい経験だったと思います。
- ・毎回帰宅後、授業内容を楽しそうに話してくれました。どの講義も解りやすく楽しかったみたいです。その中でも特に興味を引かれたのは裁判の講義だったらしく、次の日に六法全書を購入し、暇があれば見えています。
- ・コストパフォーマンスがとても良いので、現状維持でお願い致します。「子ども大学にっしん」の企画はとても素晴らしいと思うので、今後も是非継続して頂きたいと思います。来年度も参加させたいですし、子供も来年度も行く気満々でいます。宜しくお願い致します。
- ・大学とのかね合いもあり、日程を決めるのは難しいと思いますが、金管バンドフェスティバルと

同じ日になっていて、全日程参加できなかったのが少し残念でした。行事と重ならない日程だと、もっと良いと思いました。

- すごく楽しそうに話してくれました。習った事をまねしてやってくれました。又来年度も行きたいそうです。
- 地元の大学ではあるのに、小学生や中学生はほとんど縁がなく、今回初めて敷地内一步足を踏み入れて、大学とはこういう所なんだと知り、又、「教授」と言われている人物から直接話を聞ける娘にとって、とても貴重な体験をさせてやる事が出来、有難く思います。4～6年生と年齢に幅があって、難しいところもありましたが、お互い刺激にはなったのかなと思います。理科の実験や数学的な内容もあったらとは思いますが、日曜日でお休みのところ、市役所の方々、先生方、大学生の方々、本当にありがとうございました。
- 大学の校内の広さなどの様子を話していました。「大学」というものへの憧れがめばえたようです。講義もわかるものもあれば、よくわからなかったものもあったようです。
- 興味を持って参加していて良かったです。知識が増えたので、以前よりも興味の幅が広がった。
- 学校では習っていない事を教えて頂いて楽しかったようです。
- 今年度、小6なので参加できるのが最後で残念です。中学生向けのイベントが（日進市の取りくみとして）小学生に較べて減少するので、もっとあるとうれしいです。
- 講義内容によっては、渋々行く日もありましたが、行ってみると「楽しかった。」「面白かった。」と言っており、貴重な経験が出来たと思います。
- 小学校（日進全体）の行事と日程がかさなっている日があり、市の行事なので少し配慮していただきたかったです。
- 小学校では味わえない大学の雰囲気感動していました。昨年度と今年度と2年参加させて頂きました。4月から中学生になるので、参加したくても参加出来ない事がとても残念な様子です。授業の内容も子どもなりに真剣に聞いていた様です。カメラに興味を持ち始めているので、学芸大のカメラの授業はとても楽しかった様です。
- 習ってきたことをすぐに活用したり、話してくれたりして楽しそうでした。
- 毎回、親として「学んでほしいな。」というテーマでした。子供の頭に少しでも知識として残っていることを期待しています。
- 普段、学校では教わらないような分野を子供の目線になり、わかりやすく教えていただけて、子供にとってすごくいい刺激になり、帰ってきてからもすごくたくさん話をしてくれました。
- 今回が2回目の参加でしたが、帰って来た時、目が輝いていました。次回も、ぜひ参加したいそうです。子供のやる気や好奇心を大切にしたいです。ありがとうございました。
- とても興味深い内容のはずなのに、小学校とはちがう大学の先生の淡々とした講義に戸惑ったり、ずばりおもしろくなかった…など、又逆に、どうかなーと心配だったものが楽しかった！！と帰ってきたり…おもしろかったです。
- 内容を思うと安いなあ～と思いましたが、とても参加しやすい点で適切かと…この金額で運営に無理がないのであれば、とてもよいと思います。
- 半年ほどかけて、1、2ヶ月に1度のペースで開催してほしい。
- 小学校とは違う講義内容、方法の授業を受けて、勉強させられているのではなく、楽しみながら通うことができたようです。内容も面白く、お友達もできたと喜んでいました。